

## 歩さんの歩みに学ぶ

写真上は「社会活動家」平本歩さん訃報を伝える毎日新聞1月19日朝刊。次は2017年に出版された歩さんの著書。そして、昨日届いた『バクバク』133号。歩さんの追悼集であり、ここに私も「追悼文」を書かせてもらった。下記に紹介しておきたい。

平本歩さん訃報を折田みどりさん投稿「巨星逝く」で知った。歩さんのレポートを読んだ記憶があり、探してみると2017年11月発行『バクバク』121号掲載の「JR西日本新幹線乗車拒否問題」を見つけた。東京に講演に行くため、JR尼崎駅に予約電話をしたが、うまく予約がとれず驚き、嫌な思いをした。結局、わざわざ新大阪駅まで切符を取りに行くことに。JR西日本に母と話し合いに行き、JRは今回の対応について謝罪し、同意書を書くように言わないことを確約した。歩さん追悼の気持ちを込めて、私のレポートで紹介した。

その翌日、大阪の新聞各紙は歩さん訃報を伝えた。なかでも毎日新聞は歩さんを「社会活動家」と紹介。高校に合格した歩さんを見守るご両親の写真が印象的だった。JR西日本への対応などは、まさに「社会活動家」としての姿を感じさせるものだ。歩さんのことが知りたくなり、『バクバクっ子の在宅記』を手にした。

「在宅生活に困っている人工呼吸器ユーザーや障害者のために、私が生きてきた30年を本にしたい」と。誕生から在宅生活の開始、一人暮らしに至るまでが綴られる。保育園の頃から、歩さんの観察力と自己主張が読みとれる。立山登山やスキーなど、多くの人に支えられたエネルギッシュな生活だ。「歩へ 自立に向かって邁進せよ」という父の遺言に背中を押され、2011年から一人暮らしをする。本書は歩さん自立生活「開拓物語」だ。

毎日新聞3月26日夕刊1面に「全力で生きて歩んだ35年」という記事が掲載された。母・美代子さんは「歩に続く人に寄り添い、障害者と健常者を分けようとする社会を変えていきたい」と。私がバクバクの会とつながったのは、名古屋の林京香さんとご家族との交流からだ。京香さんはこの春、高校に合格した。歩さんの歩みから学んで、充実した高校生活を送り、自立に向かって邁進してほしい。歩さんに続く、京香さんらバクバクっ子たちに、私も寄り添っていきたい。

(2021年5月17日)

